

令和5年度ネット依存対策推進事業

ネット依存対策キャンプ（ぎふあおぞらキャンプ2023）実施要項

1 趣旨

宿泊を伴う体験活動や認知行動療法等を通して、自分の日常生活やネットとのつきあい方を見直すとともに、コミュニケーション能力や社会性の向上、ネットの利用を自分でコントロールする力を身につける。

2 対象者及び募集人数

ネットとのつきあい方を見直したいと望む、岐阜県内の小学生（5、6年）及び中学生 10人
※3回のキャンプで1つのプログラムとなるので、3回全てに参加できること。

3 日時及び会場（全3回 合計6日間）

プレキャンプ 令和5年9月16日（土）～17日（日）1泊2日
メインキャンプ 令和5年10月21日（土）～22日（日）1泊2日
フォローアップキャンプ 令和5年11月11日（土）～12日（日）1泊2日
場所はいずれも岐阜市少年自然の家（岐阜市山県北野 2081）

【全て現地集合及び現地解散】

※メインキャンプは、小中学生のみの参加、プレキャンプ及びフォローアップキャンプは小中学生とその保護者が参加する。

4 参加費 無料 ただし、10,000円程度の実費（食事代、シーツ代、クラフト代等）が必要

5 日程 別紙日程表

6 参加スタッフ

大学教授（講話）・医療関係者（講話、認知行動療法）・大学生メンター（グループワーク、面談）

※大学教授による講話は、岐阜女子大学横山教授に依頼

※医療関係者は、各務原病院スタッフの皆様に依頼

※大学生メンターは、岐阜女子大学に依頼

7 各キャンプの趣旨

キャンプ名	趣旨
プレキャンプ	説明会やグループ活動を通して、キャンプの見通しをもつ。安心して参加できるよう参加者同士の人間関係づくりをする。
メインキャンプ	宿泊体験プログラムを通して、これまでの日常生活やネットとの関わり方を振り返るとともに改善へのきっかけとする。
フォローアップキャンプ	メインキャンプ後の生活の様子やネットとの関わり方を確認し、以後の適切なネットへの関わりについて考える。

8 内容

(1) 集団生活（宿泊）体験

・集団で規則正しい生活をするすることで、基本的な生活習慣、集団におけるマナー、仲間とのコミュニケーションの力などを身につける。

(2) 自然体験活動・創作活動

・自然体験、創作活動を通して、ネットやゲームでは得られない、新たな気付きや発見をし、達成感や充実感を味わう。

(3) カウンセリング・認知行動療法

・日常生活やネットとの関わり方など、自分を見つめる。
・ネットとの関わり方における認知の偏りを自覚し、修正していくきっかけを掴む。

(4) 参加者、保護者向け講話

・依存とはどのような状態なのか、どんな影響があるのか等について、医療的な面から理解を深める。
・ネットの現状や賢く使うこと、上手な付き合い方について理解を深める。
・ネット依存傾向にある子どもたちへの、家族や周りの大人の支援について理解する。

9 事業評価方法

・参加者に対して、プレキャンプ前とフォローアップキャンプ後にネット依存スクリーニングテストを実施し、依存リスクを測定し、その変化を見る。

- ・参加者及び保護者からの意見聴取
- ・大学生メンターによる活動の記録

10 広 報 参加者募集のチラシ(目的・日程・参加費等を記載)を作成し、県内全小中学校に配布
県 HP に記載 県 PTA 新聞に掲載

11 申込み

- ・参加希望者が直接、右の入力フォームで申し込む。
- ・令和5年8月25日(金)必着
- ・応募者多数の場合は抽選とする。後日、県より参加の可否を連絡。

入力フォーム



12 問合せ先

- ・岐阜県私学振興・青少年課 〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1
電話：058-272-8238 FAX：058-278-2612 メール：c11151@pref.gifu.lg.jp

13 事業検討委員会

- ・関係機関と連携し、事業の企画等を行うとともに、事業実施後の評価や検証を行い、その結果を内外に発信するものとする。(年2回：6月、2月に実施予定)
- ・委員構成

岐阜女子大学教授 横山 隆光
医療法人杏野会各務原病院医師 天野 雄平
ネット安全・安心ぎふコンソーシアム会長 村瀬 康一郎
県小中学校長会長 長屋 メイ子 (関市立安桜小学校長)
県PTA連合会副会長 高木 智行
県教育委員会学校安全課長 酒井 猛
県健康福祉部保健医療課こころの健康推進監 森 稚加子
県精神保健福祉センター長 奥村 佳子